



## 課題研究に取り組む探究科2年次の保健体育1班が、大学の先生に相談しました。

探究科

6月19日(水)の放課後、探究科2年次の保健体育1班の生徒4人が、九州大学大学院人間環境学研究院 准教授 木下 寛子先生とオンラインでミーティングを行いました。保健体育1班は、高校生のパーソナルスペースについて研究しています。思春期にある高校生が他人との物理的な距離をどのくらい取りたいと感じているのか実験を通して調べています。他人と近づくことにより、緊張してしまう様子を心拍数の変化などをもとに調べてきました。



研究について、オンラインで木下先生に相談する

このたびのミーティングでは、「取り組んでいる実験が適切なものであるか。」や「信頼性のある実験結果を得るためには、どの程度のサンプルを集める必要であるか。」などについて、尋ねました。木下先生からは、「心拍数をパルスオキシメーターなど学校にある機器で測定していることは、高校生らしい実験でよいと思う。」や「実験結果をグラフに表し、データの散らばり具合を見ながら関連性があるのか判断することにより、信頼できるデータであるかどうかわかってくる。」などの助言をいただくことができました。さらに、「このたび取り組んでいる研究は、環境心理学と呼ばれている分野の研究である。環境心理学



高校生のパーソナルスペースについて研究する保健体育1班の生徒

では、研究テーマを設定したきっかけや研究の目的を、みんなに納得してもらうことが大切である。なぜ、高校生のパーソナルスペースについて研究しようと思ったのか、文章や言葉でしっかり表現できるようになってほしい。」などのアドバイスをいただくことができました。中間報告会まで、十分な時間は残されていませんが、このたびいただいたアドバイスを生かして、研究を深めていきましょう。

## 1年次生全員が、授業において“Show and Tell”に挑戦しました。

普通科

探究科

1年次生を対象とした普通科の英語コミュニケーションIや探究科の総合英語Iの授業において、6月中旬から1年次生全員が“Show and Tell”に挑戦しています。“Show and Tell”はアメリカやオーストラリアなど英語圏の学校で取り組まれている英語を使った活動の1つで、自分の好きなものや興味のあること、最近の出来事などを聴衆の前で発表します。



このたびの活動では、自分にとって大切なものを紹介するため、生徒一人ひとりが実物や写真を示しながら、示したものの特徴やなぜ大切にしているのかについて、45秒から90秒で説明しました。1年次生は、筆箱やピアノなど、普段から大切に使用しているものを取り上げ、紹介していました。さらに、発表した生徒や聴衆が質問をすることにより、クラスの生徒全員が英語を用いて発表した内容を深めることができました。

大切なものを写真で示しながら、英語で説明する生徒

1年次生は、この活動により、様々な物体の特徴を英語で聴衆に分かりやすくプレゼンテーションする力や、発表する生徒の意見を注意深く聞き取る力を身に付けることができました。

普通科

は普通科を、

探究科

は探究科を対象としたプログラムです。

## 3年次生を対象とした、教育実習生による講話を開催！

普通科

探究科

6月12日(水)の3年次生を対象とした総合的な探究の時間(本校では、「NCA」と呼んでいます。)において、4人の教育実習生が、大学進学を控えた3年次生に講話をしました。

講話では、「大学に入学すると、人との新たな出会いや新しい学びが始まる。こうした出会いや学びを通して新しい自分に気付き、人として大きく成長することができた。」ことや「サークル活動を通じた交友関係はとても貴重である。大学生活の1つとして、サークル活動を考えたほうがよい。」ことを紹介されました。また、太宰治をテーマとして取り組まれている卒業論文について説明されながら、「大学では、学問をとことんまで突き詰めていくことができる。」など大学ならではの学びや、空海の展覧会に訪れたことを例に挙げながら、「地元を離れ、都市部の大学に進学することにより、本物に出会う機会が増える。これにより自身の専門性をより向上させることができる。」ことを話されました。そして、「大学は、授業を受けるだけの学校ではない。研究することを目的とする研究機関である。だからこそ、大学在学中は探究心をもち続けることが大切である。」ことを語られながら、「大学在学中は、比較的自由な時間をもつことができる。だからこそ自らをコントロールして生活しなければ進学した成果は生まれない。高校3年生のいま、なぜ大学に進学したいのか、もう一度自分自身に問いただし、後悔することがない選択をしてほしい。」と話されました。

教育実習生として来校された4人は、現在大学4年生です。それぞれがこれまでの経験を振り返りながら、お話してくださいました。講話を聞いた3年次生が記述した感想には、「大学には、様々な都道府県から入学された学生に加え、海外からも留学生が来日されていることがわかった。進学後は、学ぶことも大切にしたいが、様々な地域から来られた人との出会いも大切にしたい。」や「大学をしっかりと選択することにより、自分の興味・関心に沿った授業を選択できることがわかった。この大学に入学してよかったと思えるように、大学をしっかりと調べて選択したい。」などがありました。みなさんの多くは、1年後には、大学生として生活していることでしょう。「大学に進学する目的は何か。」や「どの大学で専門性を身に付けたいのか。」などを考えながら、日々大学入学に向けた学習に取り組みましょう。



3年次生に大学での学びや生活を紹介する教育実習生

## 探究科の2年次生を対象とした、発展探究中間報告会のガイダンスを開催！

探究科

探究科の2年次生を対象とした発展探究中間報告会のガイダンスを、6月27日(木)に開催しました。探究科の2年次生は、4月から15の研究班に分かれて、課題研究に取り組んでいます。9月26日(木)に開催を予定している中間報告会に向け、夏休み期間中も充実した研究活動を進めることができるよう、例年この時期にガイダンスを行っています。ガイダンスでは、リハーサルや中間報告会当日の日程、1班当たりの発表時間や質疑応答の方法について説明がありました。さらに、発表会で用いる資料については、スライドの構成や、図やグラフの表し方などについて例を見ながら学ぶことができました。聴衆に伝える発表をするためには、話し方を工夫することに加え、資料として提示するスライドの配色やフォントのサイズ、グラフに付けるラベル等、配慮しなければならないことが多々あります。夏休み期間中は、課題研究以外にも様々な活動があると思いますが、時間の使い方を工夫して、しっかり準備をしてください。



発表の方法や時間を確認する生徒

発表の方法や時間を確認する生徒

普通科

は普通科を、

探究科

は探究科を対象としたプログラムです。